

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年11月21日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	10月の価格動向		11月の価格動向		生育及び価格の11月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格				
		中旬	下旬					
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	82	66	66.3	68	・入荷見込量：12,398t (109) ・主産地：千葉(40)、愛知(25)、茨城(14)、東京(4)	・千葉産、愛知産ともに、好天の影響で生育が進み潤沢な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		93.59	89	71	69.92	71	・入荷見込量：3,400t (111) ・主産地：愛知(49)、茨城(19)、熊本(6)	
	ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)	218.22	201	169	218.22	166	・入荷見込量：5,520t (102) ・主産地：新潟(16)、青森(15)、秋田(11)、埼玉(9)、千葉(8)、茨城(8)、輸入(6)、群馬(5)	・新潟産は、順調な生育で現在出荷のピークを迎えており、今後も順調な出荷の見込み。青森産も、順調な出荷で少なかった前年を上回る出荷となっている。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、現在低迷している価格がしばらく続く見込み。 (※トピック参照)
		444.77	293	246	444.77	246	・入荷見込量：200t (105) ・主産地：徳島(21)、大阪(20)、高知(17)、香川(15)、奈良(12)、三重(6)	
	はくさい	54.1	107	49	36.65	43	・入荷見込量：13,555t (101) ・主産地：茨城(84)	・茨城産は、好天の影響で生育もよく前年を上回る出荷となっており、下旬にはピークを迎える見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		69.44	107	49	53.29	51	・入荷見込量：5,400t (105) ・主産地：茨城(39)、熊本(20)、長野(13)、福岡(7)、大分(7)	
	ほうれんそう	350.1	531	408	350.1	338	・入荷見込量：1,665t (101) ・主産地：群馬(44)、茨城(14)、千葉(14)、埼玉(12)	・群馬産は、9月の台風の影響で播種が遅れたものの出荷の時期となっていること、また、好天の影響で次作のものが前進化して出荷を迎えていることから、潤沢な出荷となっている。茨城産は、生育が順調で前年を上回る出荷となっている。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は月末まで平年を下回って推移する見込み。
		419.76	625	494	419.76	399	・入荷見込量：600t (97) ・主産地：岐阜(32)、徳島(31)、福岡(22)	
果 菜	レタス	136.79	158	105	136.79	124	・入荷見込量：6,624t (101) ・主産地：茨城(65)、兵庫(11)、香川(5)	・茨城産は、好天により玉の肥大が進み、前年を上回る出荷となっている。今後は出荷の終盤を迎えるが、12月中旬までは出荷が続く見込み。兵庫産も順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		147.25	159	118	147.25	148	・入荷見込量：1,450t (114) ・主産地：兵庫(55)、茨城(22)、徳島(12)、香川(7)	
	たまねぎ	76.15	99	94	76.15	90	・入荷見込量：10,298t (102) ・主産地：北海道(83)、輸入(15)	・北海道産は、遅れていた収穫作業が終了。全体の出荷量は前年よりは多いが、平年には届かない見込み。 ・平年より少なめの出荷量が見込まれることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		76.15	105	95	76.15	88	・入荷見込量：3,700t (111) ・主産地：北海道(56)、兵庫(38)	
	きゅうり	262.75	255	273	262.75	327	・入荷見込量：4,717t (100) ・主産地：埼玉(35)、群馬(17)、宮崎(17)、千葉(9)、茨城(8)、高知(7)	・埼玉産は、生育が回復し順調な出荷となっている。群馬産は、出荷の終盤となり前年より少なめの出荷となっている。宮崎産は、本格的な出荷が平年よりやや遅れている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格はやや高めに推移する見込み。
		284.72	270	270	284.72	323	・入荷見込量：1,000t (99) ・主産地：宮崎(55)、高知(14)、大阪(6)、北海道(6)	
	トマト	315.83	580	351	315.83	457	・入荷見込量：4,834t (104) ・主産地：熊本(34)、千葉(20)、愛知(15)、茨城(12)、静岡(5)	・熊本産は、小玉傾向ではあるが平年並みの出荷となる見込み。千葉産は、冷え込みの影響で一時的に出荷が減少しているが、今後は平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、今後、価格は平年並みに推移する見込み。
		337.88	630	372	337.88	460	・入荷見込量：800t (109) ・主産地：熊本(42)、愛知(13)、徳島(9)、石川(7)、福岡(7)	
根 菜	なす	316.84	295	238	316.84	273	・入荷見込量：2,349t (98) ・主産地：高知(59)、福岡(15)、栃木(5)、群馬(4)	・高知産は、最近の冷え込みの影響で一時的に出荷が減少しているが、今後は生育が回復し、平年並みの出荷となる見込み。福岡産は、作柄が良好で平年並みの出荷の見込み。 ・平年並みの出荷が見込まれることから、今後、価格は平年並みに推移する見込み。
		277.06	295	208	277.06	224	・入荷見込量：450t (106) ・主産地：高知(37)、福岡(16)、熊本(16)、岡山(14)、群馬(6)	
	ビーマン	263.58	394	240	344.39	236	・入荷見込量：1,687t (102) ・主産地：茨城(58)、宮崎(15)、高知(13)	・茨城産は、多めの出荷となっていたが、今後はピークを過ぎやや減少傾向となる見込み。宮崎産は、曇雨天の影響で着果が悪く、平年を下回る出荷となる見込み。 ・やや少なめの出荷量が見込まれることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づく見込み。
		282.16	434	313	353.61	263	・入荷見込量：300t (99) ・主産地：宮崎(53)、高知(22)、鹿児島(11)	
根 菜	だいこん	64.33	89	66	64.33	67	・入荷見込量：12,227t (103) ・主産地：千葉(61)、神奈川(13)	・千葉産は、順調な生育で平年並みの出荷の見込み。神奈川産も、本格的な出荷の開始となり、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		76.48	105	88	76.48	88	・入荷見込量：3,500t (99) ・主産地：長崎(17)、和歌山(13)、徳島(12)、鹿児島(10)、石川(8)、千葉(7)	
	にんじん	129.56	149	109	100.82	102	・入荷見込量：7,092t (101) ・主産地：千葉(43)、北海道(31)、輸入(4)	・千葉産は、順調な生育で、少なかった前年を上回る出荷となっている。北海道産は、出荷の終盤を迎える見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		129.59	153	115	104.49	106	・入荷見込量：2,500t (96) ・主産地：長崎(41)、北海道(40)、鳥取(8)	

種類	10月の価格動向		11月の価格動向		生育及び価格の11月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格				
		中旬	下旬					
いも	さといも	200.88	238	217	200.88	195	・入荷見込量: 1,268t (106) ・主産地: 埼玉(46)、千葉(15)、栃木(5)、輸入(5)	・埼玉産は、やや小玉傾向であるが少なかった前年より多く、平年並みの出荷となっている。千葉産も、平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		207.2	250	243	207.2	258	・入荷見込量: 272t ・主産地: 愛媛(32)、宮崎(49)	
	ばれいしょ	88.17	121	118	88.17	113	・入荷見込量: 7,094t (100) ・主産地: 北海道(98)	・北海道産は、収穫作業が終了。少なかった前年よりは多いが、平年には届かない見込み。今後は、貯蔵腐敗が懸念される。 ・平年より少なめの出荷量が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		88.17	110	102	88.17	101	・入荷見込量: 4,100t (100) ・主産地: 北海道(90)、長崎(7)	

1) 平均価格は、過去9年間又は6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。
2) 別平均販売価額の背景なしは、保証基準額を上回るもの。背景なしは、下回るもの(消費税は除く。)。
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。() 内は前年対比。さといもは前年実績。
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。() 内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入量及び金額 (1人当たりの購入量、金額)							
	過去5か年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	98	1,857	97
7月	4,438	1,683	4,264	1,697	4,362	102	1,759	104
8月	4,272	1,732	4,241	1,733	4,392	104	1,717	99
9月	4,868	1,806	4,606	1,818	4,598	100	1,803	99
10月	5,314	1,849	4,994	1,959	0	0	0	0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774	0	0	0	0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887	0	0	0	0

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移
(単位: 円/kg)

月	キャベツ 過去5か年平均	キャベツ 平成23年	レタス 過去5か年平均	レタス 平成23年
1月	189	186	98	618
2月	173	228	132	496
3月	181	206	114	455
4月	250	195	78	464
5月	185	127	69	399
6月	159	106	67	360
7月	154	174	113	320
8月	170	123	72	493
9月	159	148	93	483
10月	158	205	130	474
11月	155	0	359	0
12月	146	0	442	0

1) 過去5か年は平成18~22年の平均
2) 10月の値は、10月中旬の速報値

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

資料: 総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

区分	野菜の輸入数量の推移 (単位: トン、%)					品目	主な野菜の輸入動向 (単位: トン、%)		
	平成21年		平成22年		平成23年1~9月		(A) 2010.10	(B) 2011.10	(B)/(A)
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比		前年比	前年比	前年比
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	681,685	119	94	32,423	43,059
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	1,332,823	107	107	23,934	27,886
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	2,014,509	111	103	8,488	15,150
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	1,023,783	112	100	612	57
中国産シェア	50		51		51			5,027	5,071

資料: ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」。 (2011.10) は、速報値である。

4 トピック 一ねぎの入荷量が増加し価格が低迷

ねぎは、10月中旬より入荷量が増加し、価格が低迷している。これは、 ①9月の台風の影響で主産地の青森産、秋田産の出荷が後ろにずれ込んだこと、 ②今年は国产の出回りが多いにもかかわらず、昨年の不作により増加した輸入が引き続き高水準で推移していること、 ③平年より高めの気温が続いていることから、鍋需要が低迷していること等が要因になっているものと思われる。 今後は、東北産や新潟産の出荷が11月いつぱいは続くことと、後続産地である埼玉産の出荷も順調であると見込まれることから、弱含みで推移し、価格の低迷はしばらく続くと見込まれる。 一方、需要は、寒さが長続きせず平年より高めの気温が続くと見込まれることから、弱含みで推移し、価格の低迷はしばらく続くと見込まれる。	ねぎの産地別入荷量と卸売価格の推移(東京都中央卸売市場)					ねぎの月別輸入数量の推移				
	9月上旬	9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬	9月上旬	10月上旬	11月上旬
平成22年										
青森	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950
秋田	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550
山形	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140
埼玉	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550
その他	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550
卸売価格	150	180	200	220	240	260	280	300	320	340
平成23年										
青森	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950
秋田	100	150	200	250	300	350				